

三国川ジロト沢左俣

記 T村M

2023/9/10(日)

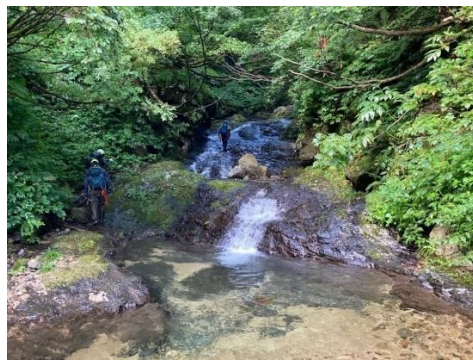
メンバー: T村M、T村E、H本、(会員外)S木

2023/9/10(日) 晴れ

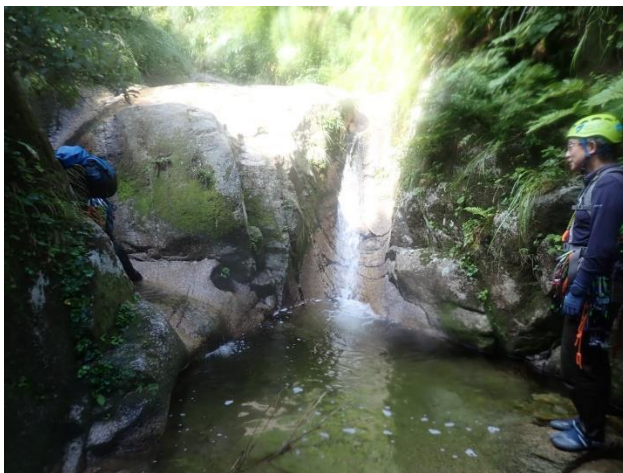
前夜は道の駅南魚沼で、S木さんと合流し軽く前夜祭をして仮眠。4:30に道の駅を出て、40分ほどで、林道末端の駐車スペースに到着。

5:45 駐車スペース発、間違って駐車スペース右上の登山道に入ってしまった。5分ほど上がったところで、間違いに気が付き一旦駐車スペースへ戻る。駐車スペースから堰堤前の河原に降りてみると、堰堤の手前の左岸に踏み跡があった。それを利用して堰堤を越えてそのまま踏み跡を進み、10分ほどでタキ沢の出会い着く。

6:05 タキ沢の出会い着。しばらく平凡な沢が続く。



8:57 ジロト沢左俣の出会いに到着。右俣が本流で、左俣は細い水栓が流れ落ちているだけで、注意してみないと見逃してしまう。左俣を20mほど入ると大滝多段150m(スラブ滝)の末端にでる。



9:23 大滝多段150m(スラブ滝)の登攀開始。

H本さんとS木さんはラバーソールだったのでそのまま登り、T村Eはフェルトソールにラバーのわらじで登った。T村Mは、他の山行記録にクライミングシューズで登った記録があったので、クライミングシューズを準備してきたが、草付きが濡れていたため、クライミングシューズでは滑ると思い、フェルトソールにチェーンアイゼンを着けて登った。この沢はラバーソールがベストだと思った。

1P目:H本さんリード。左岸の草付きを登る。ロープいっぱいまで引き上げる。

出だしが、急なスラブであまりフリクションが効かず緊張した。上部はスラブにところどころ生えている草や枝を掴みながら上がる。

[ここに入力]



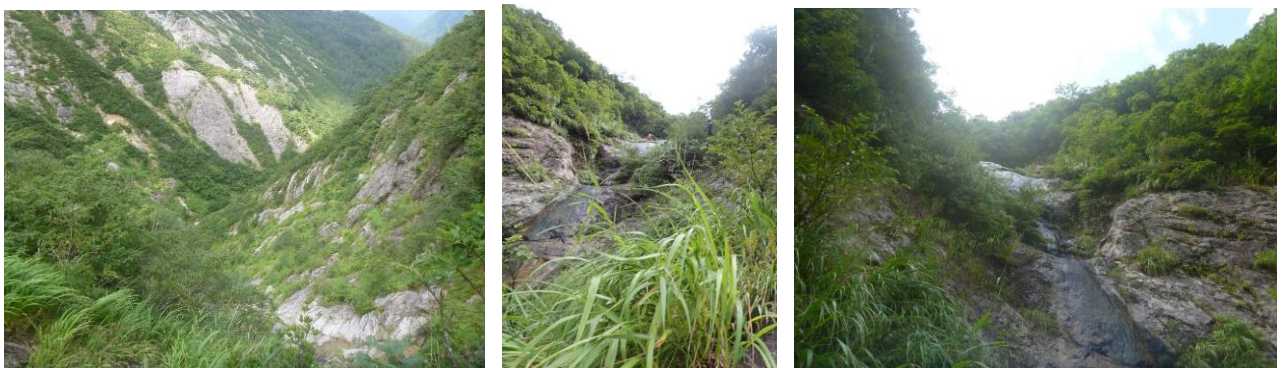
2P目:T村Mリード。20m上部のトラバースの基点まで引き上げる。短いピッチだが、支点の取れる灌木が無く、支点無で上がる。

3P目:H本さんリード。スラブ手前までトラバース。膝ぐらいの草付きの斜面をスラブ手前までトラバースする。足場はあるが、斜面が急なため滑らないように注意して進む。

4P目:T村Mリード。スラブ斜面へ降りるには藪を越えて2m程下りなければならないため、草付きを直上し、滝の落ち口手前まで草付きを上がる。急な斜面を灌木の間を、灌木に掴まりながら落ち口の10m程手前まで上がる。

5P目:H本さんリード。滝上まで10m程だが、急で登れないので左岸を滝上まで上がる。

スラブの草付きの際を登ってきた後発のパーティーが先行したため、15分ほどの待ちになってしまった。



12:15 大滝多段150m(スラブ滝)滝上到着。3時間弱かかった。2人1ペアで登る予定だったが、同じルートを、ロープを使って登る場合、先行ペアの終了を待って登り始めると時間がかかるため、1本のロープをフィックスし登ったが、やはり4人が登り終わってから次の登りとなったため、時間がかかってしまった。ロープは2本あったので、1本のロープをフィックスし3人上がって4人目が確保で上がってくる間に、残りのメンバーでもう1本のロープを使い次のポイントまでロープを引いて上がりロープをフィックスしておく等、時短を考慮すべきだった。

大滝多段150m(スラブ滝)から次の略奪点とスラブ状多段60m滝までの間に逆くの字4m、3m、6m、2mCS滝が連続で出てくる。トポでは難しいとは書いてなかったが、つるつるの滝で苦戦した。ゴルジュ帯に入り3m滝を越え8m滝は右岸から巻いて越える。

13:00 略奪点手前のハング状8m滝に着いた。



ハング状8m滝は左岸の小尾根を登りスラブに出れば良かったのを、右岸の草付きに踏み跡がありこれをたどればスラブ状多段60m滝の途中に出られると思い、入り込んでしまった。これが失敗で上部に行くと岩壁に突き当たり、この岩壁を避けるためにスラブ状多段60m滝から離れて行き、50m程上がったところから長いトラバースをする羽目になってしまった。そのため、略奪点を見ることができずにスラブ状多段60m上部まで上がってしまった。(私の判断ミスでした)

スラブ状多段60m滝の上部まで1時間弱かかってしまった。スラブ滝を右に左にとしばらく登ったが、落ち口手前で急になったため、右岸の灌木を掴んで上がった。

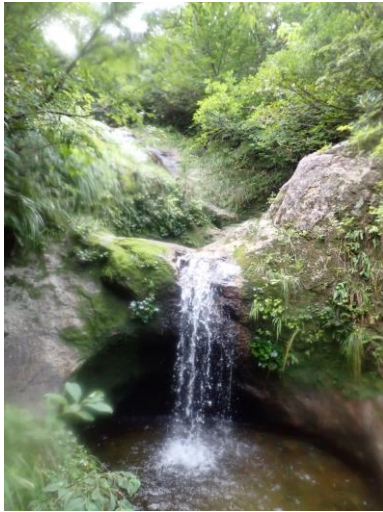
続く20m滝は落ち口手前のバンド(深い溝)を利用し左上し樹林に入り2mほど巻いて上がる。バンド(深い溝)から出るのに水をかぶりながら上がるのだが、結構な水圧がありT村Eが水圧に押され一度溝の中に押し流されてしまう。何とかクリアし、滝上へ出た。



20m滝をこえても小滝がいくつかでてくるが、つるつるの滝で小さい巻を繰り返し、狭いつつぱりで抜けるゴルジュに着いた。細い7mぐらいのミニゴルジュを突っ張りで抜ける。



ミニゴルジュを抜けると2段4mぐらいの滝ができたので、左側の灌木に入り軽く巻いて滝上に出たが、ルートとしてはこの滝の手前から稜線に抜けなければならなかった。ここから稜線にあがるには大きく回り込まなければならない。行き過ぎてしまったため、灌木を少し下り右岸の小尾根に上がり稜線に抜けた。稜線までの小尾根は藪漕ぎもほとんど無しで出ることができた。



稜線に出て10mほど進むと、展望台と呼ばれる場所に着いた。沢からここに詰める例もあったが、急なガレ場になっていて上がるのは少し危険な感じがした。展望台から雨量計小屋まで稜線沿いに進むが、ここからの藪が深く、なかなか前へ進めない。背丈以上ある藪をかき分け稜線沿いに進むが、藪に押され稜線から外れそうになるが、何とか方向を修正し雨量計小屋へ向かって進む。



17:20 悪戦苦闘し、展望台から1時間15分かけてやっと雨量計小屋に到着。途中の休憩ポイントで、下山途中で日が暮れるだろうと、ヘッドランプを出そうとしたが、2名が前泊の際にヘッドランプを使用し車に置き忘れてきたということが発覚した。暗い中のヘッドランプ無しでの急斜面や沢の下降は大変だ。とにかく急いで下山し暗くなる前になるべく前へ多く進むことにした。

雨量計小屋に無線のアンテナが立っていたので、下山が遅くなることを連絡しようと携帯を確認したが、携帯の電波(アンテナ)は立っていなかった。雨量計の情報を送信するための専用の無線アンテナだったようだ。その後も何度か連絡しようと携帯のつながりを確認したが、アンテナが立たず連絡ができなかった。



雨量計小屋からは、明瞭な道でどんどん進んでいけたが、稜線からジロト沢への分岐から下りに入るとしばらくすると日が暮れてしまった。

17:48 稜線から沢への下降開始。先頭と最後尾の間にヘッドランプを忘れた2名を挟んで急な斜面を下る。急な斜面は一気に7-80m下るがロープが設置されていた。暗くなり始めていたので、ロープが張られているのはありがたかった。一気に7-80m下っては長いトラバース。これの繰り返し。急斜面はロープがないとずるずると滑ってしまう。明るくても大変な下り斜面を、暗い中足元を照らしながらの下山は時間がかかった。稜線から1時間半かけて、やっと、ジロト沢に降り立つ。

19:23 ジロト沢に合流。タキ沢の出合いまで沢を下る。幸い大きな滝が無かったので、ヘッドランプで水面や足元を照らしながら下る。明るければすいすい下っていけるような沢だが、ヘッドランプの明かりだけでくださるのは足を取られて転びそうになったりして大変だった。

20:18 タキ沢の出合いに到着。ここから朝通って来た左岸の踏み跡を使って駐車場に下る。明瞭な踏み跡だが、ヘッドランプの明かりがないとやはり不安になる。慎重に下る。

20:36 駐車場に到着。20時を過ぎてしまったので、早く下山の連絡をしなくてはならない。とりあえず沢靴だけ履き替え荷物を車に乗せて出発。電波の届くところで下山の連絡をした。最終下山予定を1時間遅れての連絡になってしまった。

メンバーの皆さん、下山が遅くなってしまいましたが、けが無く無事に下山できて良かったと思います。
お疲れさまでした。

コースタイム： 5:50 駐車場～ 6:05 タキ沢出合い(入渓)～ 8:57 ジロト沢左俣出合い～ 9:03 150m スラブ取りつき
～ 9:23 左岸草付き～ 12:15 150m スラブ滝上～ 13:00 略奪点手前滝～ 14:11 60m 滝上部～ 15:20 ツツパリ滝～
16:00 稜線～ 16:05 展望台～ 17:20 雨量計小屋～ 17:48 稜線分岐～ 19:23 ジロト沢合流～ 20:18 タキ沢出合い～
20:36 駐車場